

# 第1回

## 東部地区沿川まちづくり勉強会

令和3年11月15日（月）18：30～

東部区民館 集会室くすのき



# 本日のながれ

1. 開会

2. 部長挨拶

3. 勉強会開催の目的

4. 事務局より説明

- ・スポーツ施設のあり方【骨子】（案）
- ・東部地区沿川まちづくり基本構想【骨子】（案）

5. グループワーク

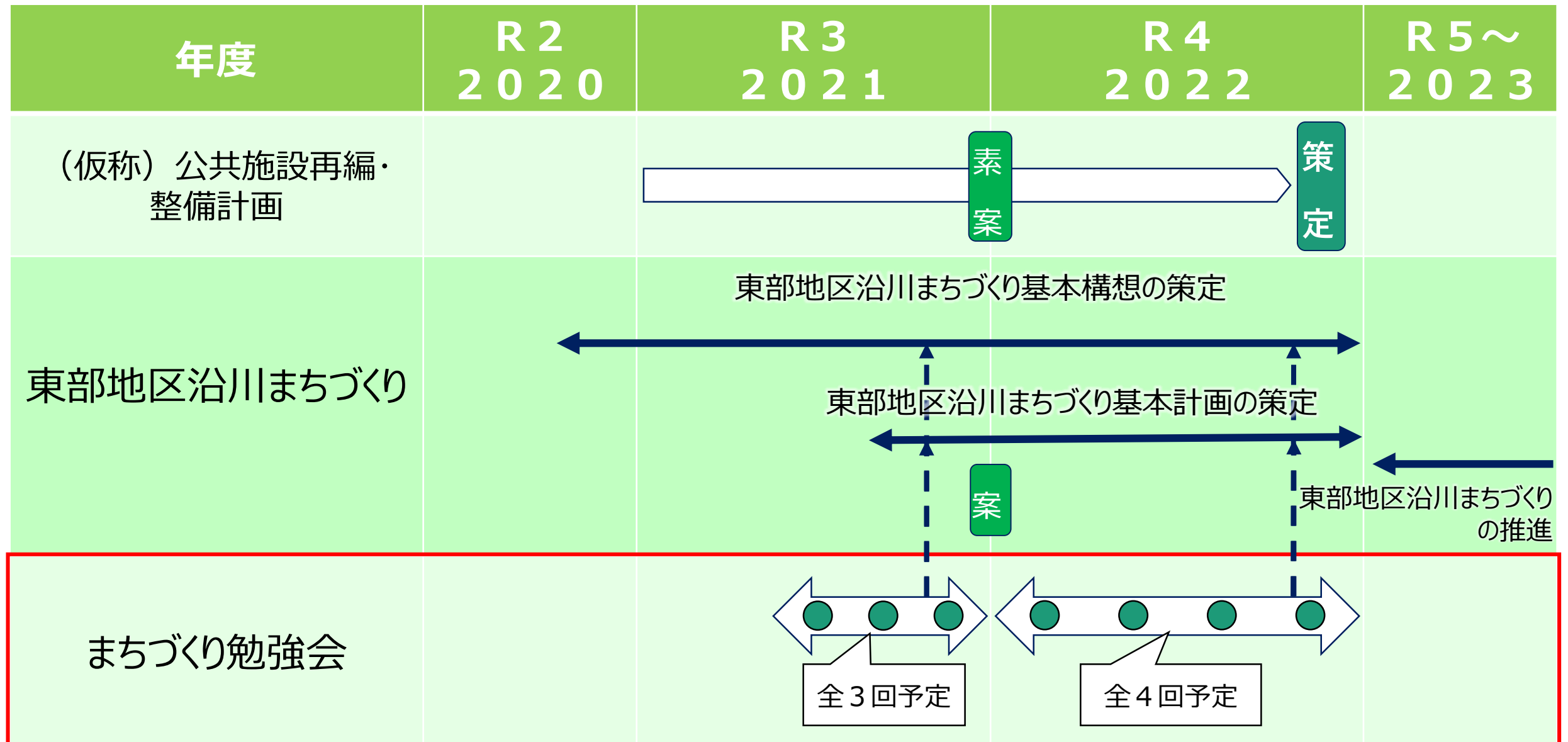
6. 今後のスケジュール

7. 閉会

# 勉強会開催の目的

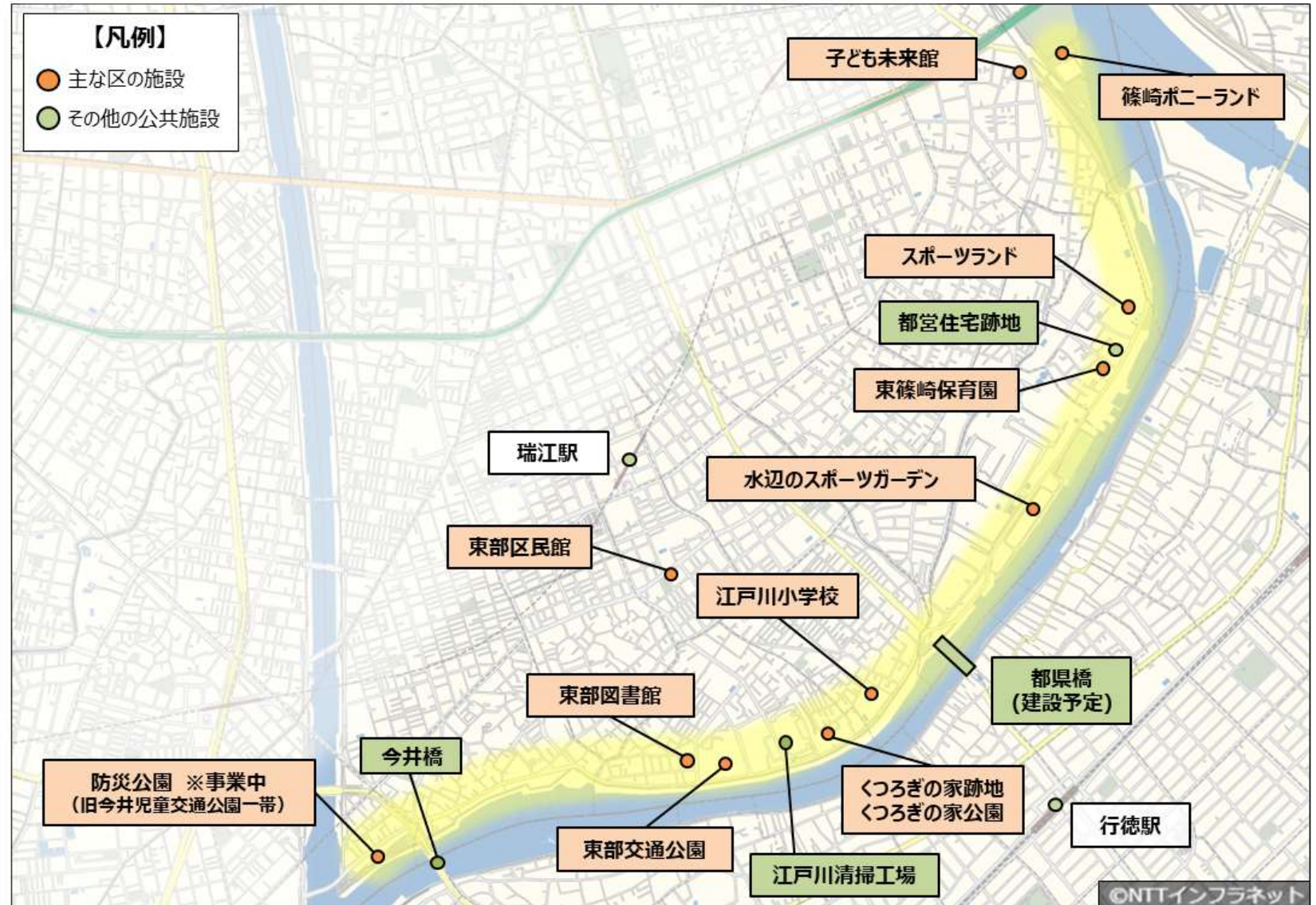
江戸川区では、東部地区沿川の地域の特徴を活かした魅力あるまちづくりを進めるための基本構想・基本計画を策定していきます。

そこで地元の方のご意見等をお伺いすることで、より良い構想としていくため、本勉強会を開催します。



# 対象地について

- 区の大規模公共スポーツ施設である“スポーツランド”や“水辺のスポーツガーデン”が点在しています。
- 『江戸川区都市計画マスタープラン』においては、新たな区民のにぎわい拠点となる“区民交流拠点”に位置づけられています。
- 都営住宅の建替えや、江戸川清掃工場の建替えが始まり、これに伴い公共用地の有効活用を検討する必要があります。



< 基本構想の対象地 >

# 対象地について ～ 対象地の主な公共施設 ～

## スポーツランド

- 夏季はプール、冬季は都内唯一の公営アイススケートリンクとして、区内外の多くの人々に利用されています。
- プロアイススケーターによるアイススケートショーを誘致し、“みるスポーツ”の充実も図っています。
- 『江戸川区都市計画マスタープラン』では、“適正な土地利用を図り、都営住宅跡地や周辺の資源を活用したにぎわいを創出”する施設として位置づけられています。

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利用者数（人）	299,655	287,659	277,462

住 所：東篠崎1丁目8番1号

整備年：昭和57年（築39年）

敷地面積：約16,420㎡

構 造：鉄骨鉄筋コンクリート造地上2階建

主な施設：プール・アイススケートリンク、観覧席、  
会議室、健康ルーム、テニスコート、駐車場



# 対象地について ～ 対象地の主な公共施設 ～

## 水辺のスポーツガーデン

- 旧江戸川河川敷内にあり、少年野球、ソフトボール、テニス、ローラースケートなど、さまざまな屋外スポーツに利用可能な施設です。
- 『江戸川区都市計画マスタープラン』においては、“情報発信を強化することで、スポーツを通じた観光・交流を促進”する施設として位置づけられています。

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利用者数（人）	353,147	369,836	355,469

住 所：東篠崎2丁目3番先（旧江戸川河川敷内）

整備年：平成21年（築12年）

敷地面積：約37,920㎡

主な施設：少年野球・ソフトボール場、多目的広場、  
テニスコート、テニス・フットサル兼用コート、  
ローラーコート、ジョギングコース、駐車場



# 対象地について ～ 対象地の主な公共施設 ～

## くつろぎの家跡地

- 「くつろぎの家」は、昭和62年に開設し、熟年者にゆっくりとくつろいでもらうための施設として利用されてきました。
- 令和2年度から、隣接している江戸川清掃工場の建替え工事が始まり、旧江戸川のスーパー堤防化も予定されていることから、令和2年9月に閉館しました。
- くつろぎの家跡地の西側には、くつろぎの家公園が整備されています。
- 『江戸川区都市計画マスタープラン』では“旧江戸川沿いの資源との連携を踏まえて、活用のあり方を検討”、“隣接する清掃工場の余熱利用など、エネルギーの有効利用を促進”として位置づけられています。

住 所：江戸川2丁目 周辺

整備年：昭和62年（令和2年閉館）

敷地面積：（くつろぎの家跡地）約3,420㎡

（くつろぎの家公園・関連用地）約3,880㎡（都有地）



# 対象地について ～ 対象地の主な公共施設 ～

## 篠崎ポニーランド

- 江戸川河川敷の広大な敷地に整備されており、無料でポニー乗馬や馬車の乗車を楽しむことができます※。
- ポニーのほかに、ヤギやミニブタともふれあうことができます。

※ポニー乗馬は小学校6年生まで

住 所：篠崎町3丁目12番17号  
整備年：昭和50年  
敷地面積：約17,760㎡

## 子ども未来館

- 篠崎ポニーランドの隣にある子ども未来館は、子どもライブラリー（篠崎子ども図書館）と子どもアカデミーからなります。
- 子どもアカデミーでは、小学生が楽しく学べるさまざまなプログラムを行っています。

住 所：篠崎町3丁目12番10号  
整備年：平成22年（築11年）  
敷地面積：約1,730㎡  
主な施設：篠崎子ども図書館、実験・展示コーナー、コース室、多目的室、資料室、屋上菜園、 など



# 対象地について ～ 対象地の主な公共施設 ～

## 東篠崎保育園

- 区内で最も園児数の多い※区立保育園です。
- 保育目標に、“心も体も元気な子”、“いろいろなことに興味を持ち遊べる子”、“友達にやさしくできる子”を掲げています。

※平成30年度時点

住 所：東篠崎1丁目6番1号  
整備年：昭和39年（築57年）  
敷地面積：約2,140㎡  
構 造：鉄筋造2階建  
定 員：163人

## 東部図書館

- 水と緑をイメージした明るい図書館です。
- 区内12の図書館のうち、4番目に延床面積があり、利用者数は6番目※となっています。

※令和元年度時点

住 所：江戸川2丁目26番1号  
整備年：平成22年（築11年）  
敷地面積：約2,170㎡  
構 造：鉄筋コンクリート造2階建  
蔵書数：133,569冊

# 対象地について ～ 対象地の主な公共施設 ～

## 東部交通公園

- 区内唯一の交通公園として、幼稚園、保育園、小学校、町会などの団体を対象とした交通教室も実施されています。
- 旧江戸川のスーパー堤防上に位置し、水害時や震災時の一時集合場所に指定されています。

所在地：江戸川2丁目28番1号

整備年：平成31年

敷地面積：約10,050㎡

防災施設：かまどベンチ、防災井戸、  
ソーラー灯、マンホールトイレ

## 江戸川小学校

- 校舎は整備から53年が経過しており、老朽化が進んでいます。

所在地：江戸川1丁目1番16号

整備年：昭和43年（築53年）

敷地面積：約10,320㎡

主な施設：校舎（普通教室10室）、校庭、  
屋内運動場、プール

# 対象地について ～ 対象地の主な公共施設 ～

## 防災公園 ※事業中（旧今井児童交通公園一帯）

- 旧江戸川と新中川の合流部、旧今井児童交通公園一帯の約12,600 m<sup>2</sup>に整備予定となっています。
- 東京都のスーパー堤防整備事業と合わせて水辺環境を活かした魅力ある防災公園として再整備を予定しています。

住 所：江戸川4丁目10番地

整備年：令和5年度予定

敷地面積：約12,610m<sup>2</sup>

（今井児童交通公園）約9,290m<sup>2</sup>

（都住跡地）約3,320m<sup>2</sup>

# 対象地について ～ 関連計画と関連事業～

## スポーツ施設のあり方（策定中）

スポーツランドや水辺のスポーツガーデンを含む、区内の公共スポーツ施設のあり方について、将来にわたって区民のスポーツ環境向上を図るための基本方針を策定しています。

## 清掃工場の建替え

江戸川清掃工場では現在、建替え事業が進められています。

建替え事業では、「水とみどりに調和した 地域にやさしい清掃工場」をコンセプトに、“水とみどりの調和”・“施設の強靱化”・“環境との共生”・“エネルギーの有効利用”を方針としています。

新清掃工場は令和9年に供用開始予定です。

<江戸川清掃工場外観イメージ図>



出典：江戸川清掃工場建替工事ホームページ

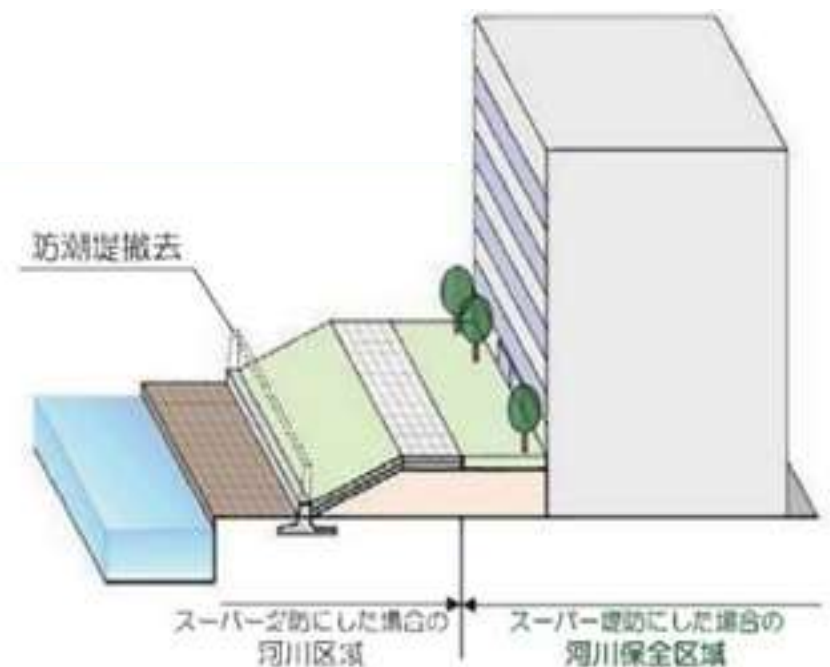
# 対象地について ～ 関連計画と関連事業～

## スーパー堤防の整備

高潮や大地震による水害から都内の東部低地帯を守るため、東京都によるスーパー堤防整備事業が進められています。

スーパー堤防は地域のまちづくり等と一体となって整備が進められており、スーパー堤防と沿川地域を一体的に整備することにより、防災面だけでなく、河川と一体となった新しい空間形成など、まちづくりの面での効果も期待されています。

<スーパー堤防の整備例>



出典：スーパー堤防整備事業 -安全で、うるおいのある水辺の再生-  
(東京都建設局)

# 対象地について ～ 関連計画と関連事業～

## 都県橋の建設

江戸川から旧江戸川の都県境区間では、現状、市川橋から今井橋まで約8kmにわたって一般道路の橋が無く、首都圏の人口集中地区における河川において、橋の間隔が最長の区間となっています。このため、限られた橋に交通が集中することで発生する交通混雑や防災上の脆弱性などが課題となっています。

そこで、本区と千葉県市川市を結ぶ約450mの都県橋の整備事業が進められており、令和4年度に事業着手予定となっています。

< 都県橋の建設予定地 >



# 東部地区沿川まちづくりの方向性

## 1. 共生社会の実現

老若男女・障害の有無にかかわらず誰もが楽しめる交流拠点を整備し、共生社会の実現を目指します。

## 2. 地域のにぎわい創出

地域の特色を踏まえ、スポーツを活かした、区内外から人々が集まるにぎわい拠点を創出します。

## 3. 災害に強いまちづくり

防災機能を付帯させることで、災害時における周辺住民の安全を確保します。

## 4. 公共施設・土地の有効活用

公共施設の再編・整備にあたっては、周辺の公共施設や公共用地との一体的な利活用を図ります。

## 5. 関連事業との整合

清掃工場の余熱の有効活用や、都県橋の整備にあわせた近隣自治体との連携を検討します。

### < 施設例 >

■ にぎわい施設

■ 大型スポーツ施設

■ 誰もが一緒に遊べる公園

■ 障害者スポーツ施設

■ 余熱利用施設

など

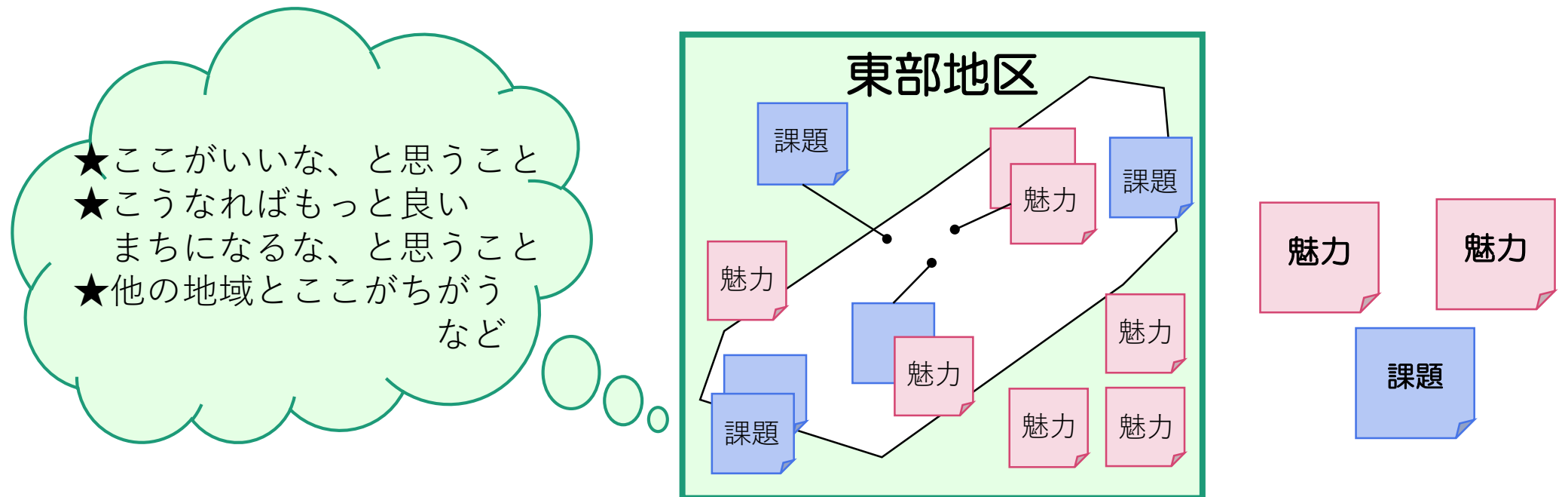
# グループワーク

## ■ グループワークの進め方

### テーマ：東部地区沿川地域の魅力と課題

普段生活している中で感じる地域の魅力と改善点を付箋に書いてください。

他の人の発表を聞いて、思いついた意見を付箋に書き、追加・共有してください。



！グループワークをするにあたって！

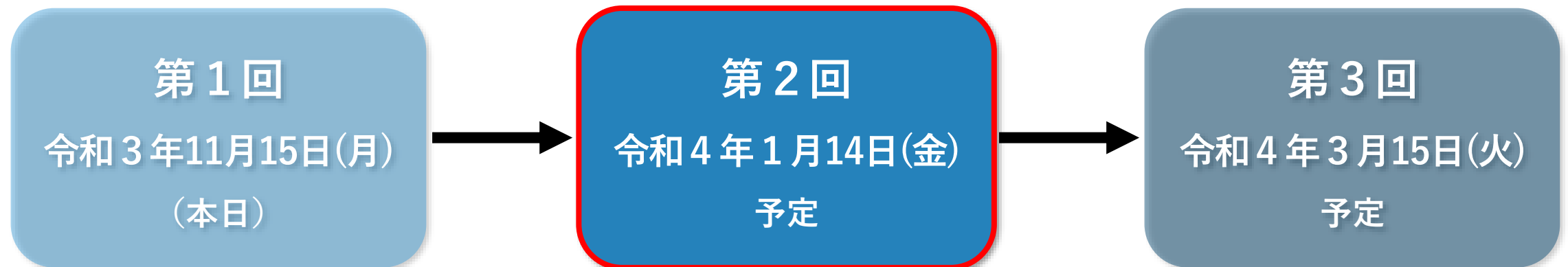
- ✓ お互いの意見・考えを尊重しましょう。
- ✓ 積極的に発言しましょう。



# 今後のスケジュール

- 次回の勉強会は令和4年1月14日（金）を予定しています。
- 詳細については改めてご連絡します。

## ◆ 令和3年度実施予定（全3回）



本日はご参加いただき  
ありがとうございました

# スポーツ施設のあり方（案）【骨子】

区内には多くのスポーツ施設が整備され、区民のスポーツ振興・健康増進に寄与しています。一方でこれらの施設は更新時期を迎えており、今後の人口減少・少子高齢化に伴う収収減や、区民のニーズの変化への対応などを考慮した、新たな施設整備・運営のあり方が求められています。そこで、今後のスポーツ施設のあり方を検討し、将来にわたって区民の活力と健康を支え続けられる、スポーツ施設の方向性を示すための基本的な方針を策定します。

## 策定の背景

- 人口減少社会の到来
- 区内公共スポーツ施設の老朽化
- 『SDGs＝共生社会』への取組
- 障害者スポーツの普及・促進
- 「する」「みる」「ささえる」スポーツの推進
- スポーツの多様化

## スポーツ施設における課題

- 今後の社会状況を見据えた施設整備
- 多様化する利用者ニーズへの対応
- 誰もが運動・スポーツに親しめる環境の充実
- スポーツによるにぎわい拠点の創出

## スポーツ施設の目指すべき方向性

- **財政負担の軽減と多様化する区民のスポーツニーズへの対応の両立**
- **区民が生涯、様々な形でスポーツに親しめるよう、「する」「みる」「ささえる」環境を実現**
- **江戸川区らしい共生社会の実現に向けた、“だれもが使いやすいスポーツ施設”**

## 基本方針

### 1. 適切なスポーツ施設の配置

- スポーツ活動拠点の配置を検討
- 複合化・多機能化を検討し、多様なニーズに対応
- 公式試合やプロが利用できるような施設の検討

### 2. 持続可能なスポーツ施設の整備・運営

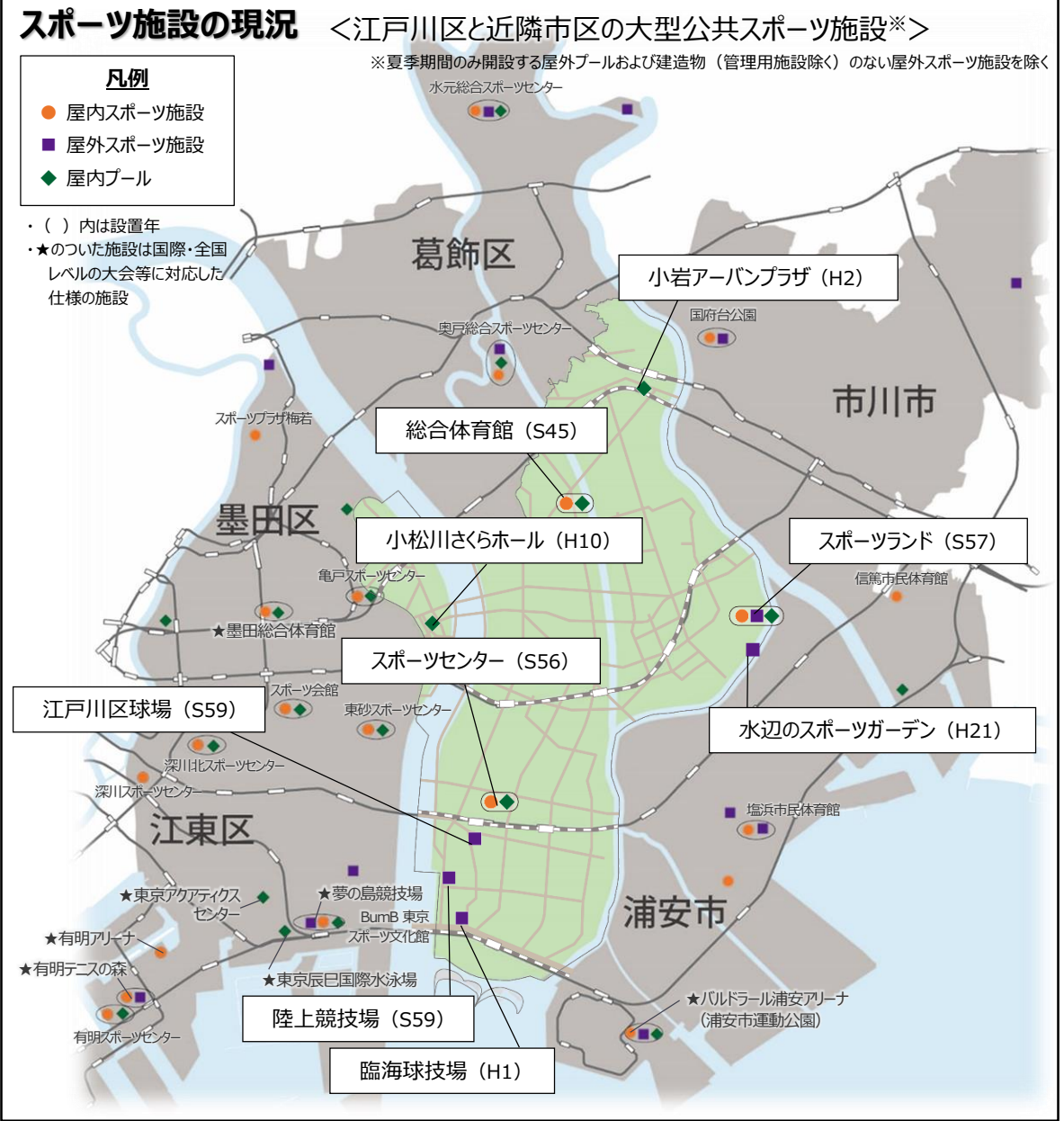
- 民間ノウハウの積極的な導入の検討
- 民間施設との連携の検討
- 周辺自治体との連携による相互利用の検討

### 3. 共生社会の実現に向けたスポーツ環境の創出

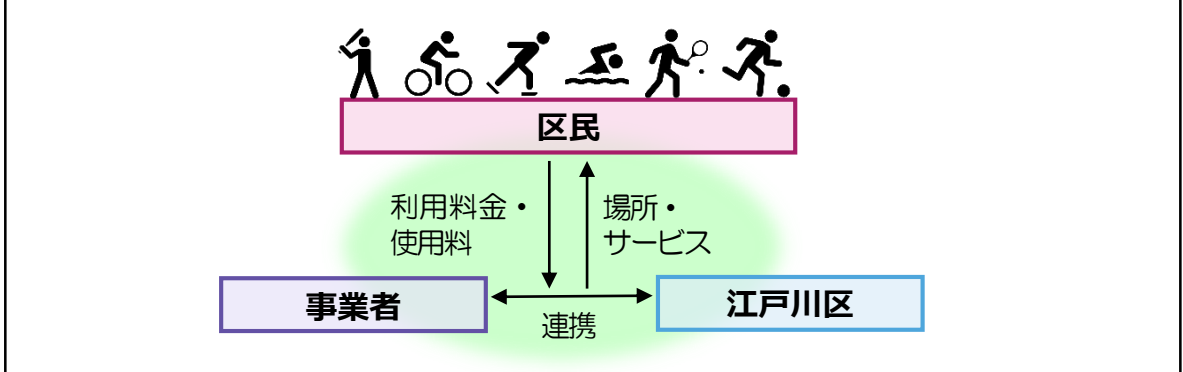
- ユニバーサルデザインなどを取り入れた施設整備
- 障害者スポーツを通じた区民の交流の場を創出
- 地域の特色を活かした多様なスポーツ環境の創出

### 4. “みるスポーツ”による地域の活性化

- プロスポーツとの交流を通じたコミュニティの活性化
- にぎわいを生む“みるスポーツ”の拠点整備の検討
- スポーツを通じたシビックプライドの醸成



**実現に向けて**  
 江戸川区と事業者が互いに連携を強め、区民のスポーツ環境向上を図ります。



# 東部地区沿川まちづくり基本構想（案）【骨子】

江戸川区の東部地区は、瑞江駅を中心に土地区画整理事業が進められ、快適な環境の魅力ある街が形成されています。旧江戸川沿川の東篠崎エリアは、本区の大型公共スポーツ施設である“スポーツランド”や“水辺のスポーツガーデン”が点在しているほか、様々な事業が進められており、『江戸川区都市計画マスタープラン』において、新たな区民のにぎわい拠点となる“区民交流拠点”に位置づけられています。特に、近年、東篠崎の都営住宅の建替えが進み、さらに、江戸川清掃工場の建替え事業が始まり、これに伴い公共用地の有効活用を検討する必要性が生じていることから、東篠崎エリアをはじめとする東部地区沿川について、地域の特徴を活かした魅力あるまちづくりを進めていきます。

## 対象地の概要

### 上位計画における対象地の位置づけ

- **スポーツランド**  
適正な土地利用を図り、都営住宅跡地や周辺の資源を活用したにぎわいを創出。
- **水辺のスポーツガーデン**  
情報発信を強化することで、スポーツを通じた観光・交流を促進。
- **くつろぎの家跡地**  
旧江戸川沿いの資源との連携を踏まえて、活用のあり方を検討。隣接する清掃工場の余熱利用など、エネルギーの有効利用を促進。

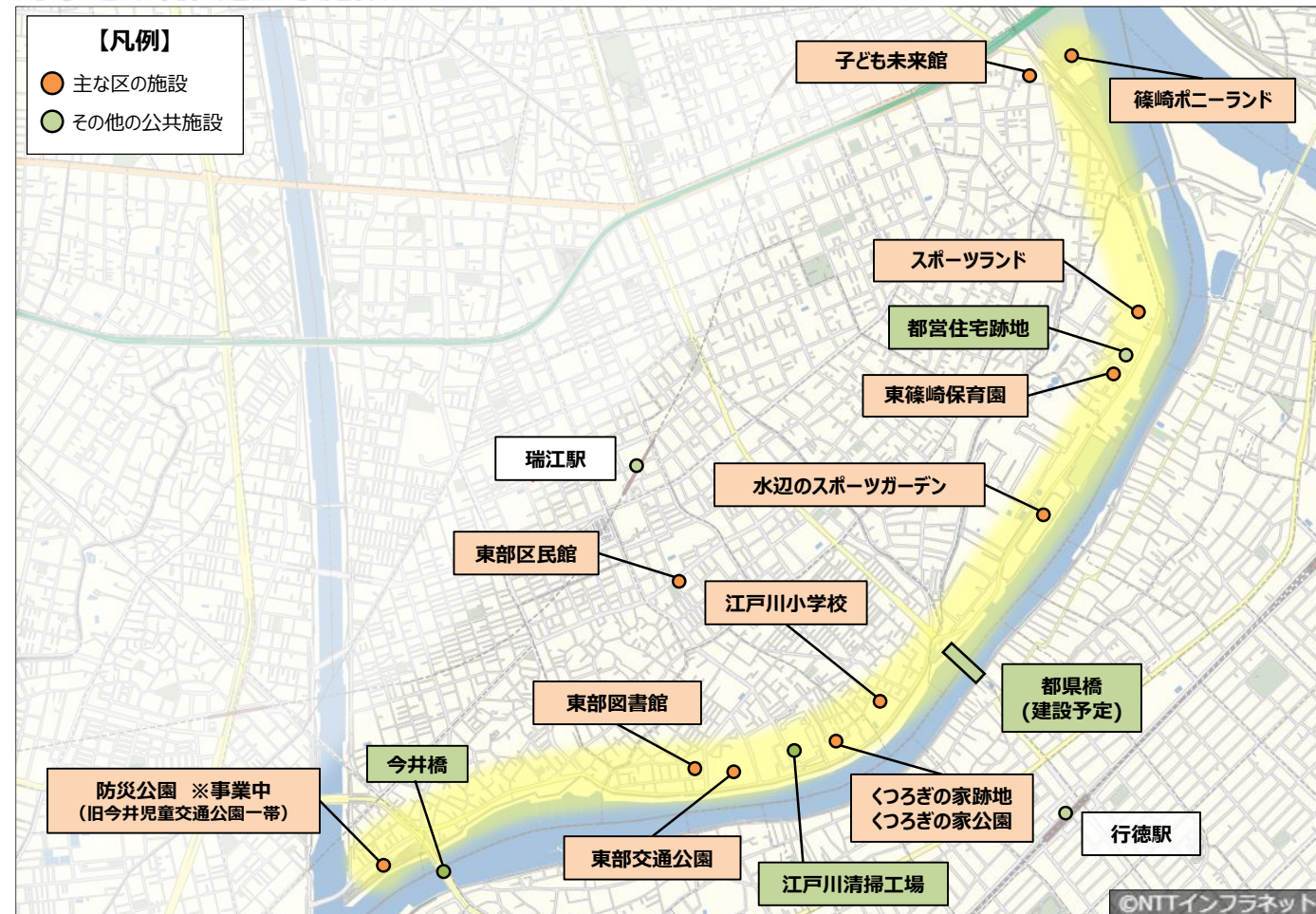
### 対象地における関連計画と関連事業

- **スポーツ施設のあり方** : 区内の公共スポーツ施設のあり方について、将来にわたって区民のスポーツ環境向上を図るための基本方針を策定。
- **清掃工場の建替え** : 江戸川清掃工場の建替えが令和9年に完了予定。
- **都県橋の建設** : 江戸川区と市川市を結ぶ都県橋の整備が進行中。令和4年事業着手予定。
- **スーパー堤防の整備** : 東京都によるスーパー堤防整備事業が進行中。

## 公共施設整備の方向性

- 1. 共生社会の実現** 老若男女・障害の有無にかかわらず誰もが楽しめる交流拠点を整備し、共生社会の実現を目指します。
- 2. 地域のにぎわい創出** 地域の特色を踏まえ、スポーツを活かした、区内外から人々が集まるにぎわい拠点を創出します。
- 3. 災害に強いまちづくり** 防災機能を付帯させることで、災害時における周辺住民の安全を確保します。
- 4. 公共施設・土地の有効活用** 公共施設の再編・整備にあたっては、周辺の公共施設や公共用地との一体的な利活用を図ります。
- 5. 関連事業との整合** 清掃工場の余熱の有効活用や、都県橋の整備にあわせた近隣自治体との連携を検討します。

## 対象地の範囲と主な施設



- 施設例
- にぎわい施設
  - 大型スポーツ施設
  - 誰もが一緒に遊べる公園
  - 障害者スポーツ施設
  - 余熱利用施設 など